

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人パワーウエスト ほんまちこども園		
○保護者評価実施期間	2025年 8月9日		2025年9月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 8月 2日		2025年9月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用満足度	世の中のルール マナーを守ったうえで、活動し、満足して帰っていただきたいと常日頃考えています。ほんまちこども園に また来たいと思ってもらえるような活動をしていきたいです。	ご利用様が、満足していただけるような新たな活動内容を考えていきます。
2	国の基準より多い「利用者様2人に対して職員1人以上」を配置することで、本人決定主義を基本とした支援を展開しています。	利用者様の発信・決定を中心とした支援を展開する際、意見がバラバラになりやすいです。ですが当事業所では職員を多く配置することで、少人数のグループに分かれてしまっても見守りができるようにしています。スペースも状況に応じて別室を開放するなど、余裕を持った形をとっています。	職員の雇用は随時おこない、当事業所独自の基準を下回らないようにしています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	交流の方法を考えていきます。	地域への情報発信をしていきます
2	運動能力の高いご利用者様が多くおられます。そのため急な動きに対応するのが難しくなりつつあります。	事業所の職員の高齢化による身体能力の低下が顕著になってきています。	若い世代の職員の雇用を積極的に行う必要があります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 NPO法人パワーウエスト ほんまちこども園

公表日 2025年9月8日

利用児童数

4

回収数

4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				安心できる。	より良い事業所運営を目指します。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				2	専門的な事が分かりません。	分かりやすく説明していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1				色々なところに連れていってくれる。 子供たちが喜んでいる。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	3			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1	2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					送迎の際に話を聞け助かっている。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				4		検討はしておりますが、スケジュールの調整が難しく、未だ開催には至れておりません。申し訳ございません。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					助かっています！		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4				速やかに、かつ直接的な形で周知を行う予定です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			子供たちから避難訓練があったと話しています	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4			毎回とても楽しみに通所させていたっている	より良い事業所運営を目指します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4			毎回とても楽しみに通所させていたっている	より良い事業所運営を目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4			毎回とても楽しみに通所させていたっている	より良い事業所運営を目指します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		NPO法人パワーウエスト ほんまちこども園		公表日		2025年9月8日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	3	体を動かして遊ぶ事ができる部屋 又 勉強及び、相談のスペースを確保しています。	特定の曜日に利用希望が集中してしまうことがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	4	時差出勤を導入しており、利用者様が多い時間帯に、職員を多く配置しています。	急な職員の欠勤に対するの対応。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	6	掲示板に本日の予定等を明記しています。必要な場所に踏み台、手すりを設置しています。	活動場所が2階の為、階段の昇降が困難な方への対応	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	7	毎日掃除片付けを行っています。衝突防止クッションを設置しています。	2階の為、階下に振動が伝わること。さらに清潔感のある空間を目指します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	7	個別の場所を確保しています。又ご希望に応じて使用可能です。	複数のご利用者様が同時に個別場所使用をご希望された場合の対応。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	7	平日就業開始時にミーティングを行っています。参加できない職員は、書面でやりとりしています。	全職員が参加できる会議の機会を増やしていきたいです。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2	保護者向け評価表を吟味・参考にして、課題を確認、改善を目指しています。	可能な限り改善していきたいと考えています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	5	平日は、就業開始時のミーティングと職員連絡ノートを参考にして、業務改善につなげています。	可能な限り改善していきたいと考えています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	14	行っていません。	第三者評価のやり方を調査し、実行可能か検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	4	虐待防止及びその他の研修は、定期的に参加・実施しています。障害児通所支援事業者育成事業は、参加しております。	より良い研修を実施していきたいと考えています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	4	作成、公表しています。	必要に応じ 修正していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	4	支援計画における新基準に従い、著しく意思疎通が困難なご利用者様を除き、全員に支援の希望目標を聞き取りしています	より良い放課後等デイサービス計画を作成していきたいと考えています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	4	平日就業開始時のミーティングと職員連絡ノートを参考にして、放課後等デイサービス計画を作成するようにしています。	より良い放課後等デイサービス計画を作成していきたいと考えています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	6	一日のご利用終了後、出勤職員で放課後等デイサービス計画内容、目標の評価を行っています。	状況の変化等があるごとに、計画の見直し変更をしていきたいと考えています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3	フォーマルなアセスメント以外に連絡ノートや職員の口頭による連絡等により確認しています。	こどもの適応行動の状況をさらにきめ細かい確認を目指します。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	3	左記チェック項目の通り実施しています。	さらにより良い放課後等デイサービス計画作成を目指します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	5	平日就業開始時のミーティング以外に月1回以上職員会議を実施して活動プログラムの見直しを行っています。	より良い活動プログラムを考えていきたいです。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	7	状況に応じて、活動プログラムの見直しを行っています。	新たな活動プログラムのプランを考えていきます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	7	左記チェック項目の通り実施しています。	よりよい放課後等デイサービス計画作成を目指します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	5	平日は、就業開始時のミーティングを行っています。	学校休業日のミーティング時間の確保が課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	5	左記チェック項目の通り実施しています。	出勤していない職員に対しては、書面での連絡になります。他の連絡方法も考えていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	4	支援終了後、記録作成しています。	支援の検証・改善を目指します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	3	課題の達成度や修正点等、個別にモニタリングを行い、新たな課題目標等を立てている。	常に状況の変化等ある場合、放課後等デイサービス計画の見直しを行えるようにしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	3	左記チェック項目の通り実施しています。	可能な限り参加できるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	左記チェック項目の通り実施しています。	さらに情報共有と相互理解に努めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	左記チェック項目の通り実施しています。	さらに情報共有と相互理解に努めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	2	左記チェック項目の通り実施しています。	さらに情報共有と相互理解に努めていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	6	必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けています。	さらに連携を深めていきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	5	行っていません。	検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	2	電話、メール、連絡帳等、あるいは、面談で連絡を取り合いこどもの発達の状況や課題について共通理解を持てるよう努めています。	さらに共通理解を持てるよう努めていきます。ライン導入検討中です。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	14	相談等ご希望があれば、可能な範囲で対応いたします。	検討いたします。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1	契約時に説明いたします。それ以外にも問い合わせ等ございましたら、その都度説明させていただきます。	丁寧な説明を心掛けます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	左記チェック項目の通り実施しています。	十分に確認できるよう努めていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	左記チェック項目の通り実施しています。	詳しく説明できるよう努めていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	6か月に1回ほどの予定で、懇談の開催案内を行っています。その他ご希望がある場合、面談や必要な助言と支援を行います。	可能な限り対応いたします。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	14	行っていません。	検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	2	ご希望にお応じさせていただきます。	可能な範囲で対応させていただきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14		Instagramで定期的に活動内容等情報を発信しています。	こまめな情報発信ができるよう、努めていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	職員には、雇用契約時に口頭及び書面にて説明しています。個人情報は、鍵付き書庫に保管しています。PCデータは、暗証番号設定	個人情報の取扱いについて、職員に周知徹底いたします。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	状況に応じて、意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っています。	可能な限り対応できるよう努めていきます。現在、外国語の対応は、できていません。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	4	行っていません。	検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	各種マニュアルを作成して、職員に周知して、訓練を実施しています。	各種マニュアルについて、保護者様にも周知していけるよう努めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	年2回避難訓練を実施しています。	きめ細かな訓練を目指します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	0	契約時に確認しています。	状況の変化等あれば、随時状況を確認できるよう努めます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	現在、食物アレルギーのあるご利用者様は、利用されていませんが、ご利用場合、医師の指示書に基づく対応をいたします。	新たな食物アレルギーが発生していないか確認していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	左記チェック項目の通り実施しています。	より安全に活動できるように心がけます
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を行っています。	安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1	記録書を事業所内で閲覧できるようにしています。再発防止等について、ミーティングの場を設けています。	再発防止に努めます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	3	左記チェック項目の通り実施しています。	研修内容の充実を目指す。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	左記チェック項目の通り実施しています。	緊急性を要する場合の必要性についての判断をいかにするか。	